題材系統表

題材は，五つの分野で構成され，活動のねらい，発想のきっかけ，使用する材料や用具などを考慮し，発達の段階とともに学びを深めることができるよう，系統的に配列されています。

				1・2上	1・2下	3・4上	3・4下	5・6上	5・6下
A表現	造形遊びをする	材料や場所を基にして活動する	材料を基にして	・カラフル いろみず（p.28-29） ・いっぱい つかって なに しよう（p.38-39）	・ひかりの プレゼント（p.10-11） ・しんぶんしと なかよし（p.18-19） ・だんボールに 入って みると！？（p.44-45）	・ぬのをつないで（p.12-13） ・ひもひもワールド（p.52-53）	・光とかげから生まれる形（p.38-39）		
			場所・環境を生かして			・「小さな自分」のお気に入り（p.30-31）	・ここにいたい（p.10-11） ・まどをのぞいて（p.46-47）	・あんなところがこんなところに見えてきた（p.10-11） ・光と場所のハーモニー（p.44-45）	・ここから見ると（p.12-13） ・自然を感じるすてきな場所で（p.22-23） ・思い出のあの場所に（p.44-45）
		体全体を働かせながら活動する		・すなや つちと なかよし（p.14-15） ・べったん コロコロ（p.24-25） ・ならべて ならべて（p.48-49）	・つないで つるして（p.32-33）	・クミクミックス（p.40-41）	・ここをつつんだら（p.20-21） ・つなぐんぐん（p.24-25）		
	絵に表す	材料や用具に触れながら思い付いたことを表す		・かきたい もの なあに（p.10-11） ・やぶいた かたちから うまれたよ（p.16-17） ・いろいろな かたちの かみから（p.30-31）	・とろとろえのぐで かく（p.22-23） ・はさみの あーと（p.36-37） ・ざいりょうから ひらめき（p.46-47）	・絵のぐ＋水＋ふで＝いいかんじ！（p.8-9） ・ペタパタひらくと（p.28-29） ・土でかく（p.48-49）	・絵の具でゆめもよう（p.8-9） ・光のさしこむ絵（p.32-33） ・これでえがくと（p.40-41）	・でこぼこの絵（p.32-33） ・消してかく（p.40-41）	・墨と水から広がる世界（p.10-11） ・感じて 考えて（p.30-31）
		感じたこと，想像したこと，見たことから表す	日常生活でかきためたことから表す		・おはなみ スケッチ（p.8-9）	・わたしの６月の絵（p.18-19）		・絵の具スケッチ（p.8-9）	
			生活経験から表す	・みて みて あのね（p.20-21）	・たのしかったよ ドキドキしたよ（p.26-27）	・あの日あの時の気もち（p.24-25）	・わすれられない気持ち（p.26-27）	・心に残ったあの時 あの場所（p.22-23）	・わたしの大切な風景（p.24-25）
			想像したことから表す	・のって みたいな いきたいな（p.46-47）	・ふしぎな たまご（p.16-17）	・ひらいて広がるふしぎなせかい（p.36-37）	・まぼろしの花（p.16-17）	・心のもよう（p.14-15） ・まだ見ぬ世界（p.26-27）	・音のする絵（p.20-21）
			物語などから感じたこと，想像したことから表す	・おはなしから うまれたよ（p.34-35）	・ことばの かたち（p.40-41）	・ことばから形・色（p.42-43）	・言葉から形・色（p.44-45）	・言葉から思いを広げて（p.46-47）	・言葉から想像を広げて（p.42-43）
		版に表す		・うつした かたちから（p.58-59）	・たのしく うつして（p.52-53）	・いろいろうつして（p.54-55）	・ほってすって見つけて（p.54-55）	・ほり進めて刷り重ねて（p.50-51）	・版で広がるわたしの思い（p.50-51）
	立体に表す	材料や用具に触れながら思い付いたことを表す	粘土で	・ひもひも ねんど（p.18-19）	・にぎにぎ ねん土（p.12-13）	・切ってかき出しくっつけて（p.16-17）	・立ち上がれ！ ねん土（p.14-15）	・わたしのいい形（p.48-49）	・固まった形から（p.28-29）
			様々な材料で	・はこで つくったよ（p.44-45）	・くしゃくしゃ ぎゅっ（p.20-21）	・カラフルフレンド（p.10-11） ・くぎうちトントン（p.32-33）	・ひみつのすみか（p.36-37）	・糸のこスイスイ（p.20-21） ・立ち上がれ！ ワイヤーアート（p.30-31）	・光の形（p.14-15）
		感じたこと，想像したこと，見たことから表す	粘土で	・ごちそう パーティー はじめよう！（p.26-27） ・いっしょに おさんぽ（p.54-55）	・おもいでを かたちに（p.38-39）	・ねん土マイタウン（p.46-47）	・元気のおまもり（p.30-31）	・のぞいてみると（p.12-13）	・水の流れのように（p.40-41）
			様々な材料で		・ともだち ハウス（p.50-51）	・クリスタルアニマル（p.26-27）	・ようこそ！ ゆめのまちへ（p.48-49）	・ミラクル！ ミラーステージ（p.38-39）	・未来のわたし（p.48-49）
	工作に表す	飾るもの・使えるものをつくる		・ちょきちょき かざり（p.12-13） ・ひらひら ゆれて（p.32-33） ・かざって なに いれよう（p.40-41）	・わっかで へんしん（p.14-15）	・空きようきのへんしん（p.38-39）	・ギコギコ トントン クリエイター（p.18-19） ・おもしろだんボールボックス（p.28-29）	・使って楽しい焼き物（p.24-25）	・おもしろ筆（p.8-9） ・すてきな明かり（p.26-27） ・１まいの板から（p.32-33）
		遊ぶもの・仕組みから思い付いたものをつくる		・おって たてたら（p.22-23） ・かみざら コロコロ（p.50-51） ・にょきにょき とびだせ（p.56-57）	・まどから こんにちは（p.24-25） ・音づくり フレンズ（p.30-31） ・わくわく おはなしゲーム（p.42-43） ・パタパタ ストロー（p.48-49）	・くるくるランド（p.14-15） ・ふき上がる風にのせて（p.20-21） ・ゴムゴムパワー（p.44-45） ・マグネットマジック（p.50-51）	・コロコロガーレ（p.12-13） ・ゴー！ ゴー！ ドリームカー（p.50-51）	・形が動く 絵が動く（p.18-19） ・わくわくプレイランド（p.42-43）	・くるくるクランク（p.16-17）
		伝え合うものをつくる					・カードでつたえる気持ち（p.42-43）	・伝え合いたい思い（p.52-53）	・ドリーム・プロジェクト（p.46-47）
B鑑賞	鑑賞する	身の回りのものの楽しさや面白さ・よさを感じ取る		・でこぼこ はっけん！（p.42-43） ・すきまちゃんの すきな すきま（p.52-53）	・いろの 見えかた むげん大（p.28-29） ・ともだち 見つけた！（p.54-55）	・み近なしぜんの形・色（p.22-23）	・色合いひびき合い（p.22-23）	・水から発見 ここきれい！（p.28-29）	
		自分の作品や身近な美術作品などのよさや面白さ・美しさを感じ取る					・ポーズのひみつ（p.52-53）	・カードを使って（p.16-17）	・この筆あと，どんな空？（p.18-19） ・わたしの感じる和（p.38-39）

題材別カリキュラム表は以下の内容で構成されています。

分野	造形遊びをする，絵に表す，立体に表す，工作に表す，鑑賞する，のいずれかで示しています。
系統	分野の中で，さらに細かく系統を示しています。系統に関しては本書p.２-３をご参照いただき，６年間の学びを見通す際などにご参考ください。
ページ	教科書の掲載ページを示しています。
配当時間	題材を実施するにあたっての参考時数を示しています（１時間＝45分）。この枠に収めなければいけないということではありません。各学校や児童の実態に合わせてご検討ください。
題材名	教科書の題材名を示しています。教科書紙面において複数の展開例を示しているものは，展開例ごとに示しています。 例）１・２上　かきたい もの なあに 　　～すきな もの いっぱい～　～おひさま にこにこ～
題材の目標	各題材の目標を，学習指導要領で示されている各学年の目標を踏まえた一文で示しています。 ※各題材での目標を，各学年の目標（１）（２）（３）それぞれに対応する三文で設定することも考えられます。
育てたい子どもの姿	「学びに向かう力，人間性等」の個人内評価とする部分や，日本文教出版株式会社が図画工作の学習で大切にしたいこと（「感じる・ためす・つくりだす」）などを踏まえ，題材を通して育てたい子どもの姿を示しています。 ※「感じる・ためす・つくりだす」については，教師用指導書「指導解説編」もあわせてご参考ください。
主な学習内容	児童の活動を中心として，授業の流れを示しています。
評価規準の例	各観点ごとに「おおむね満足できる」状況（Ｂ）について記載しています。 ・表現の題材においては，鑑賞する学習活動との関連を示すために「思考・判断・表現」のＢ鑑賞に関する評価規準も設定しています。関連して指導する場合にご参考ください。 ・鑑賞する題材では，独立して行うことを前提としているため「知識・技能」における「技能」に関する評価規準，「思考・判断・表現」におけるＡ表現に関する評価規準は設定していません。ただし一部の題材については上記の観点についても示しています。 ・「技能」において示している材料・用具は教科書紙面に基づくものです。実際に使用する材料や用具，中学年以降においては児童の経験を踏まえて，設定してください。 例）５・６上「糸のこスイスイ」 　　表現方法に応じて電動糸のこぎりや紙やすりを活用するとともに，板材や水彩絵の具についての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 ※評価の考え方については，教師用指導書「指導解説編」もあわせてご参考ください。
主な材料・用具	授業で必要な材料や用具を，教師，児童それぞれが準備するものとして示しています。学校や学級の実態に応じて，教師，児童いずれが準備するのかご検討ください。 ここで示していないものであっても，活動をより広げるために用意しておくとよい材料や用具に関しては，教師用指導書「朱書編」でご確認ください。 ※材料・用具の取扱いについては，教師用指導書「材料・用具編」もあわせてご参考ください。
関連	幼児期／中学校といった校種間の関連，他教科等との関連，他の題材との関連などを示しています。 関連は一例であり，他にも多様な関連が考えられますが，校種間接続や，カリキュラムマネジメントの視点からご参考ください。

題材別カリキュラム

p. 8-9　おもしろ筆　飾るもの・使えるものをつくる　2～4

目標　身近な材料を使い，材料の特徴や材質を考えながら筆跡を想像し，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，面白い形や線がかける筆を工夫してつくる。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
いろいろな材料に触れて見付けた特徴やよさを生かして，自分にとって心地よいものをつくる喜びを感じ，生活を豊かにしようとする子ども。	○柄や筆先に使えそうな材料を集める。 ○集めた材料に触れて，つくりたい筆を考える。 ○材料や用具の使い方を工夫してつくる。 ○実際に使うなどしてかき味を確かめたり，よさを感じたりする。	教師・児童：筆の筆先や柄の材料 など 教師：たこ糸，針金，木工用接着剤，化学接着剤 など 児童：はさみ など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
身近な材料を使って，面白い形や線がかける筆をつくるときの感覚や行為を通して，材質感の違いなどを理解している。	表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに，前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	材質感の違いなどを基に，自分のイメージをもちながら，柄や穂先の材料に触れて感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，用途などを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。	材質感の違いなどを基に，自分のイメージをもちながら，実際に使うなどして自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい，主体的に身近な材料を使って，面白い形や線がかける筆をつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連　他の題材：p.10-11「墨と水から広がる世界」との関連が深い。つくった筆を実際に使って表現するようにしたい。

p.10-11　墨と水から広がる世界　材料や用具に触れながら思い付いたことを表す　2～4

目標　墨と水を使ってできることを試しながら表したいことを見付け，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，表し方を工夫して表す。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
限られた材料や用具だけでも，豊かな表現ができることを楽しみ，試しながら表現を深めていくことに喜びを感じる子ども。	○墨と水を使って，いろいろな表現を試す。 ○試したことを基に表したいことを考える。 ○墨と水，筆などの使い方を工夫して表現を深める。 ○友人とお互いの作品を見合いながら，工夫やよさを感じ取る。	教師・児童：新聞紙，雑巾 など 教師：和紙，刷毛，小皿 など 児童：墨，すずり，墨汁，筆，文珍，スポイト，筆洗 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
墨と水を使って和紙に試しながら，思いを広げて表すときの感覚や行為を通して，動き，奥行き，バランスなどを理解している。	表現方法に応じて墨を活用するとともに，前学年までの水や筆などについての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	動き，奥行き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，墨でかいて感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じなどを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。	動き，奥行き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい，主体的に墨と水を使って和紙に試しながら，思いを広げて絵に表す学習活動に取り組もうとしている。

関連　道徳：C「伝統や文化の尊重，国や郷土を愛する態度」との関連が深い。墨という伝統的な材料に触れて感じたことなどから道徳の学習につなげたい。

p.12-13　ここから見ると　材料や場所を基にして活動する／場所・環境を生かして　3～6

目標　身近な場所の特徴を基に，空間の奥行きなどを生かし，ある一点から見ると何かの形に見えるような工夫をして，形や色などの造形的な特徴を捉えながら見る人が楽しくなるようなものをつくる。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
他者の考えも取り入れながら，いろいろな人が見て面白さを感じるものをつくりだす楽しさを感じる子ども。	○教科書などを参考にしながら，ある場所から見るとつながって見える造形があることを知る。 ○校内の場所などを見て回りながら，活動できそうな場所や，活動を考える。 ○場所の特徴を生かしたり，材料や用具を活用したりして，確かめながらつくる。 ○友人とお互いがつくったものを見合い，その面白さや工夫を伝え合う。	教師・児童：セロハンテープ など 教師：画用紙，色画用紙，ビニルテープ，養生テープ，木工用接着剤，デジタルカメラ など 児童：はさみ，のり など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
場所の奥行きを生かして，楽しく見えるものをつくるときの感覚や行為を通して，奥行き，バランスなどを理解している。	活動に応じて材料や用具を活用するとともに，前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり，方法などを組み合わせたりするなどして，活動を工夫してつくっている。	奥行き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，場所や空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付き，構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら，どのように活動するかについて考えている。	奥行き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちのつくりだしたものの造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，つくり方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい，主体的に場所の奥行きを生かして，楽しく見えるものをつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連　学校行事等：校内での展覧会や学習発表会など，多くの人が学校を訪れる機会と関連させながら取り組むことが考えられる。

p.14-15　光の形　材料や用具に触れながら思い付いたことを表す／様々な材料で　2～4

目標　メラミンスポンジに光を当てたり形を変えたりしながら表したいことを見付け，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，表し方を工夫して表す。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
自分で考え試しながら表現することを楽しみ，思いもよらない手応えにも意味や喜びを感じ取る子ども。	○メラミンスポンジに光を当てたり，ストローに光を通したりして見え方のよさを味わいながら表したいことを考える。 ○形を削ったり組み合わせたりして，表し方を工夫する。 ○形の見え方を確かめながらつくる。 ○できた形をみんなで展示して見るなどして，よさや美しさ，表現の工夫などを味わう。	教師：メラミンスポンジ，ＬＥＤライト，ストロー，革用ポンチ，段ボールカッター，カッターマット，木工用接着剤 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
光を当てると美しく見える形をつくるときの感覚や行為を通して，動き，バランスなどを理解している。	表現方法に応じてメラミンスポンジを活用するとともに，前学年までの段ボールカッター，接着剤などについての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，スポンジに光を当てたり形を変えたりしながら感じたことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じなどを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。	動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい，主体的に光を当てると美しく見える形をつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連　他の題材：５・６上p.48-49「わたしのいい形」との関連が深い。本題材でもパーツをつくって組み合わせるというだけではなく，塊から削りながら形をつくるということを意識させたい。
プログラミング教育：光をプログラムで制御し，その光の変化に合わせて表すことなども考えられる。

p.16-17　くるくるクランク　遊ぶもの・仕組みから思い付いたものをつくる　6～8

目標　クランクの仕組みを生かして，動きのある面白いおもちゃなどを考え，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，表し方を工夫して表す。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
仕組みを生かして面白いものをつくることに興味をもち，いろいろ試しながらつくることを楽しむ子ども。	○クランクの仕組みを知り，つくる。 ○仕組みを動かしながら表したいことを考える。 ○材料や用具の使い方を工夫して表す。 ○作品を動かして見合いながら，よさや面白さ，表現の工夫を味わい伝え合う。	教師・児童：空き箱，身辺材 など 教師：針金，ペンチ，ラジオペンチ，色画用紙，ストロー，竹ぐし・竹ひご，カッターナイフ，カッターマット，木工用接着剤，化学接着剤 など 児童：ペン，はさみ，のり など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
クランクの仕組みを使って，楽しく動くものをつくるときの感覚や行為を通して，動き，バランスなどを理解している。	表現方法に応じて身辺材などを活用するとともに，前学年までの切る用具，描画材，接着剤などについての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，仕組みを動かして感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じなどを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。	動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，動かすなどして自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい，主体的にクランクの仕組みを使って，楽しく動くものをつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連　中学校技術：本題材での，仕組みづくりや，用具の扱いに慣れておくことがA「材料と加工の技術」へつながる。

p.18-19　この筆あと，どんな空？　自分の作品や身近な美術作品などのよさや面白さ・美しさを感じ取る　2～4

目標　空が描かれた美術作品を見て，筆づかいや色づかいから表現の特徴を捉え，よさや美しさを味わう。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
様々な美術作品の表現方法の違いや特徴によるよさや美しさを感じ取り，表現した人の思いや考えに思いを巡らせる子ども。	○空の描かれた美術作品を見て，その表現方法の特徴や違いについて話し合う。 ○空の表現の特徴などを真似たり試したりしながら確かめる。 ○確かめたことをさらに話し合い，改めて作品を見て，よさや美しさを味わう。	教師：美術作品，美術作品から「空」の部分を切り取った印刷物（提示用），ワークシート，画用紙，コンテ・パステル など 児童：筆記用具，水彩用具一式，クレヨン・パス など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
空が描かれた美術作品を見るときの感覚や行為を通して，動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを理解している。			動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，我が国や諸外国の親しみのある美術作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい，主体的に空が描かれた美術作品を見て，表し方の違いを見付け，よさや美しさを味わう学習活動に取り組もうとしている。

関連　道徳：C［国際理解，国際親善」D「感動，畏敬の念」等との関連が深い。外国の美術作品に触れそのよさや美しさに触れたことなどから道徳の学習につなげたい。

p.20-21　音のする絵　感じたこと，想像したこと，見たことから表す／想像したことから表す　2～4

目標　身近な音を感じながら形や色を思い浮かべ，造形的な特徴を捉えながら自分の思いに合う表し方を工夫して絵に表す。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
音やリズムなど見えないものにも心をすませ，形や色で想像を広げたり，表したりすることを通し，生活の中にある身近なものをより楽しく豊かなものに感じる子ども。	○生活の中の音に耳をすます。 ○音から思い浮かべた形や色を切って貼ったり，かいたりして表す。 ○表したものを見て題名を考える。 ○音を聞きながら，友人とお互いに作品を見合い，よさを感じ取る。	教師：画用紙・塩化ビニル板，色セロハン・カッティングシート，コンテ・パステル，木工用接着剤 など 児童：水彩用具一式，はさみ，のり など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
身近な音を感じながら形や色を思い浮べ，イメージを広げて絵に表すときの感覚や行為を通して，動き，バランス，色の鮮やかさなどを理解している。	表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに，水彩絵の具などの描画材についての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	動き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，身近な音を聞いて感じたことや想像したことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じなどを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。	動き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい，主体的に身近な音を感じながら形や色を思い浮かべ，イメージを広げて絵に表す学習活動に取り組もうとしている。

関連　音楽：音楽で学んだ曲を基に活動することもできる。曲や演奏のよさや美しさなどを感じ取り味わうことは音楽の「B 鑑賞」にもつながる。

p.22-23　自然を感じるすてきな場所で　材料や場所を基にして活動する／場所・環境を生かして

～落ち葉の庭で～　2～3

目標　落ち葉のある場所で，その場所にある材料を活用し，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，活動を工夫して場所の様子をつくりかえる。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
身の回りの自然を造形的に捉え直すことでそのよさや美しさを感じ，それらを生かしながらよりよくつくりかえようとする子ども。	○落ち葉に触れて，その形や色の違いや特徴を見付ける。 ○落ち葉を並べたり周りにあるものと組み合わせたりしながら，場所の様子をつくりかえる。 ○自分たちがつくりかえた場所をお互いに紹介し合い，よさや美しさを味わう。	児童：汚れてもよい服装 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
落ち葉のある場所の特徴を生かして，よりすてきな空間につくりかえるときの感覚や行為を通して，動き，バランスなどを理解している。	活動に応じて落ち葉を活用するとともに，前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり，方法などを組み合わせたりするなどして，活動を工夫してつくっている。	動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，落ち葉や，落ち葉のある場所や空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付き，構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら，どのように活動するかについて考えている。	動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちのつくりだしたものの造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，つくり方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい，主体的に落ち葉のある場所の特徴を生かして，よりすてきな空間につくりかえる学習活動に取り組もうとしている。

関連　ＥＳＤ：本題材を通して自然環境について考えるきっかけにしたり，ＥＳＤで学んだことを発想につなげたりすることが考えられる。
道徳：Ｂ「友情，信頼」やＤ「自然愛護」などとの関連が深い。協力してつくりだした経験や，自然に触れながら感じたことなどについて話し合うなどして，道徳の学習につなげたい。

～海の近くの砂浜で～　2～4

目標　海の近くの砂浜で，その場所にある材料を活用し，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，活動を工夫して場所の様子をつくりかえる。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
身の回りの自然を造形的に捉え直すことでそのよさや美しさを感じ，それらを生かしながらよりよくつくりかえようとする子ども。	○砂浜の砂や土に触れながら活動を考える。 ○砂浜にあるものを活用したり，砂浜から見える様子を考え合わせたりするなど活動を工夫する。 ○自分たちがつくったものや場所をお互いに紹介し合い，よさや美しさを味わう。	教師：シャベル・スコップ，バケツ など 児童：帽子，汚れてもよい服装 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
海辺の砂浜の特徴を生かして，よりすてきな空間につくりかえるときの感覚や行為を通して，動き，バランスなどを理解している。	活動に応じて砂を活用するとともに，前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり，方法などを組み合わせたりするなどして，活動を工夫してつくっている。	動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，砂や，砂浜にあるもの，場所や空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付き，構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら，どのように活動するかについて考えている。	動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちのつくりだしたものの造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，つくり方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい，主体的に海辺の砂浜の特徴を生かして，よりすてきな空間につくりかえる学習活動に取り組もうとしている。

関連　ＥＳＤ：本題材を通して自然環境について考えるきっかけにしたり，ＥＳＤで学んだことを発想につなげたりすることが考えられる。
道徳：Ｂ「友情，信頼」やＤ「自然愛護」などとの関連が深い。協力してつくりだした経験や，自然に触れながら感じたことなどについて話し合うなどして，道徳の学習につなげたい。

～風の通り道～　2～4

目標　風が吹き抜ける場所で，身近な材料を活用し，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，活動を工夫して風を美しく見せる。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
身の回りの自然を造形的に捉え直すことでそのよさや美しさを感じ，それらを生かしながらよりよくつくりかえようとする子ども。	○風が通る場所を探し，どのようにして風を美しく見せるのかを考える。 ○材料や用具を活用しながら，風が吹いたときに美しく見えるように活動する。 ○自分たちがつくったものや場所をお互いに紹介し合い，風が吹いたときの様子を味わう。	教師：養生シート，P.E.テープ，木工用接着剤，養生テープ など 児童：はさみ など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
風が通る場所や材料の特徴を生かして，風を美しく見せるときの感覚や行為を通して，動き，バランスなどを理解している。	活動に応じて養生シートやP.E.テープを活用するとともに，前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり，方法などを組み合わせたりするなどして，活動を工夫してつくっている。	動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，風が通る場所や空間，風に揺れる材料の特徴を基に造形的な活動を思い付き，構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら，どのように活動するかについて考えている。	動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちのつくりだしたものの造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，つくり方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい，主体的に風が通る場所や，材料の特徴を生かして，風を美しく見せる学習活動に取り組もうとしている。

関連　ＥＳＤ：本題材を通して自然環境について考えるきっかけにしたり，ＥＳＤで学んだことを発想につなげたりすることが考えられる。
道徳：Ｂ「友情，信頼」やＤ「自然愛護」などとの関連が深い。協力してつくりだした経験や，自然に触れながら感じたことなどについて話し合うなどして，道徳の学習につなげたい。

～白い世界で～　2～3

目標　雪がある場所で，その場所にある材料や身近な材料を活用し，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，活動を工夫して場所の様子をつくりかえる。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
身の回りの自然を造形的に捉え直すことでそのよさや美しさを感じ，それらを生かしながらよりよくつくりかえようとする子ども。	○雪の積もった場所を見て，どのような活動ができそうか考える。 ○雪や氷，場所にあるものを生かしながら，材料や用具を活用して，場所の様子を変える。 ○自分たちがつくったものや場所の様子をお互いに紹介し合い，よさや美しさを味わう。	教師：ひも，シャベル・スコップ，バケツ，食紅・染料 など 児童：防寒具 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
雪がある場所や材料の特徴を生かして，よりすてきな空間につくりかえるときの感覚や行為を通して，動き，バランスなどを理解している。	活動に応じて雪や氷を活用するとともに，前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり，方法などを組み合わせたりするなどして，活動を工夫してつくっている。	動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，雪や場所の特徴を基に造形的な活動を思い付き，構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら，どのように活動するかについて考えている。	動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちのつくりだしたものの造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，つくり方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい，主体的に雪がある場所や，材料の特徴を生かして，よりすてきな空間につくりかえる学習活動に取り組もうとしている。

関連　ＥＳＤ：本題材を通して自然環境について考えるきっかけにしたり，ＥＳＤで学んだことを発想につなげたりすることが考えられる。
道徳：Ｂ「友情，信頼」やＤ「自然愛護」などとの関連が深い。協力してつくりだした経験や，自然に触れながら感じたことなどについて話し合うなどして，道徳の学習につなげたい。

p.24-25　わたしの大切な風景　感じたこと，想像したこと，見たことから表す／生活経験から表す　2～8

目標　日頃の生活の中にある自分にとって大切な風景を見たり思い浮かべたりしながら，そのときの様子や思いに合う形や色の特徴を捉え，工夫して絵に表すことを楽しむ。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
毎日の生活の中や身の回りにある大切なものに気付くとともに，それに思いを寄せたり自分を見つめたりする子ども。	○自分の生活や身の回りを見つめ，大切な風景を思い浮かべる。 ○思いが表れるように表し方を構想して，自分が大切に思う風景を表す。 ○友人とお互いの作品を紹介し合い，感じたことや考えたことを伝え合う。	教師：画用紙・色画用紙，コンテ・パステル など 児童：水彩用具一式，クレヨン・パス，鉛筆 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
自分にとっての大切な風景を，思いが表れるように工夫しながら絵に表すときの感覚や行為を通して，動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを理解している。	表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに前学年までの水彩絵の具などの描画材についての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，風景から感じたこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じなどを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。	動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい，主体的に自分にとって大切な風景を，思いが表れるように工夫しながら絵に表す学習活動に取り組もうとしている。

関連　学校行事等：卒業に向けてや他学年との交流，家庭・地域とのつながりなど，様々なことから主題を探すことができる。

p.26-27　すてきな明かり　飾るもの・使えるものをつくる

～プラスチックだんボールで～　4～6

目標　光の様子を見ながら発想し，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，プラスチック段ボールや色セロハンなどを使って，きれいな光を感じるランプシェードを工夫してつくる。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
自分たちでつくったものが，場所や生活をよりよくすることに喜びを感じ，生活を自分たちの手で豊かにしようとする子ども。	○プラスチック段ボールや材料に光を当てて，光の通る感じを味わいながら，表したいことを考える。 ○材料や用具の使い方を工夫しながら表す。 ○見え方などを確かめながらつくる。 ○実際に使うなどして作品のよさや美しさを味わう。	教師・児童：セロハンテープ など 教師：プラスチック段ボール，色セロハン，お花紙，色画用紙，LEDライト，ペン，ホチキス，木工用接着剤 など 児童：はさみ など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
プラスチック段ボールを使って，きれいな光を感じるランプシェードをつくるときの感覚や行為を通して，動き，バランスなどを理解している。	表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに，前学年までのプラスチック段ボールの経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，材料に光を通して感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じ，用途などを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。	動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，実際に使うなどして自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい，主体的にプラスチック段ボールを使って，きれいな光を感じるランプシェードをつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連　学校行事等：校内での展覧会や学習発表会など，多くの人が学校を訪れる機会と関連させながら取り組むことも考えられる。
プログラミング教育：光をプログラムで制御し，その光の変化に合わせて表すことなども考えられる。

～和紙で～　4～6

目標　光の様子を見ながら発想し，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，和紙を使って，きれいな光を感じるランプシェードを工夫してつくる。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
自分たちでつくったものが，場所や生活をよりよくすることに喜びを感じ，生活を自分たちの手で豊かにしようとする子ども。	○和紙や材料に光を当てて，光の通る感じを味わいながら，表したいことを考える。 ○紙バンドや針金などで芯をつくる。 ○和紙を貼り付けるなどしながら表現を工夫する。 ○実際に使うなどして作品のよさや美しさを味わう。	教師：和紙，紙バンド，刷毛，色画用紙，アルミ針金，ペンチ，ラジオペンチ，ＬＥＤライト，ホチキス，木工用接着剤 など 児童：はさみ など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
和紙を使って，きれいな光を感じるランプシェードをつくるときの感覚や行為を通して，動き，バランスなどを理解している。	表現方法に応じて和紙を活用するとともに，前学年までの材料や用具の経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，和紙に光を通して感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じ，用途などを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。	動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，実際に使うなどして自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい，主体的に和紙を使って，きれいな光を感じるランプシェードをつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連　学校行事等：校内での展覧会や学習発表会など，多くの人が学校を訪れる機会と関連させながら取り組むことも考えられる。
プログラミング教育：光をプログラムで制御し，その光の変化に合わせて表すことなども考えられる。

p.28-29　固まった形から　材料や用具に触れながら思い付いたことを表す／粘土で　4～6

目標　液体粘土で固めた布の形の美しさや面白さを感じ取り，見立てたり，形を生かしたりして，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，想像を広げて立体に表す。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
対象の形をいろいろな方向から見ることで見え方の変化を知り，その面白さを見いだしてイメージを広げ，表現する楽しさを味わう子ども。	○布に触れて，いろいろな形を見付ける。 ○布に液体粘土をつけて，つるしたりねじったりするなどいろいろな形を試して，よいと思った形で固定する。 ○固まった形をいろいろな向きから見て思い付いたことを表す。 ○自分の作品を置きたい場所を探し，置いてデジタルカメラなどで撮影するなどし，紹介し合う。	教師・児童：布，空き缶，ペットボトル，段ボール箱，洗濯ばさみ，ピンチハンガー，雑巾 など 教師：液体粘土，デジタルカメラ，クリップ，たこ糸 など 児童：水彩用具一式 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
布を固めた形から想像を広げて立体に表すときの感覚や行為を通して，動き，バランスなどを理解している。	表現方法に応じて液体粘土を活用するとともに，前学年までの水彩絵の具や布についての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，布の形を変えたり固まった布の形をいろいろな向きから見たりして，感じたこと，想像したことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じなどを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。	動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい，主体的に液体粘土で布を固めた形から想像を広げて立体に表す学習活動に取り組もうとしている。

関連　外国語：外国語活動と同じく，ショー・アンド・テルの中で作品について伝えることが考えられる。単一の材料を使いながら表現が多様に生まれるので，こうした活動に向いていると考えられる。

p.30-31　感じて 考えて　材料や用具に触れながら思い付いたことを表す　4～6

目標　体全体の感覚を働かせて材料や用具に触れて感じたことから表したいことを見付け，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，感じたこと，考えたことを往還しながら表し方を工夫して表す。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
材料などから得た感覚を基に自らの思いをもったり，思いを表すために材料などに働きかけたりすることを繰り返しながら，思いを深めて表現していく子ども。	○体全体の感覚を働かせながら，材料に働きかけ，表したいことを考える。 ○表したいことに合わせて材料や用具を活用し，働きかけて変化したことからさらに考えを深めて表現する。 ○表現したものを見て題名を考える。 ○友人とお互いに作品を見合いながら，表現の変化や工夫，感じたことなどを伝え合う。	教師・児童：身辺材 など 教師：基底材（板材・厚紙・段ボール・画用紙・色画用紙など），身辺材，液体粘土，段ボールカッター，カッターナイフ，カッターマット，木工用接着剤，化学接着剤 など 児童：はさみ など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
手と心を働かせて，いろいろな材料を使って表すときの感覚や行為を通して，動き，奥行き，バランス，材質感の違い，色の鮮やかさなどを理解している。	表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに，前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	動き，奥行き，バランス，材質感の違い，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，材料に触れて感じたことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じなどを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。	動き，奥行き，バランス，材質感の違い，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい，主体的に手と心を働かせて，いろいろな材料を使って表す学習活動に取り組もうとしている。

関連　中学校美術：材料に働きかけながら主題を見付けることは，中学校においても大切にする必要がある。本題材においても，じっくりと材料と対話をするようにしながら取り組むようにしたい。

p.32-33　1まいの板から　飾るもの・使えるものをつくる　6～8

目標　1枚の板材から，用途を考え，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，構造やつくり方を工夫して，生活の中で使えるものをつくる。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
つくったもので生活がより豊かになることを感じ，生活の中で使えるものを考え，積極的につくりだすことに意欲をもつ子ども。	○生活の中で使うことができるように，目的や用途などを考え，つくりたいものを図に表すなどして計画を立てる。 ○木取りをするなど，材料を有効に活用しながらつくる。 ○思いに合わせて組み立てたり塗装したりする。 ○できたものを実際に使うなどしてよさを味わう。	教師・児童：定規，セロハンテープ など 教師：板材，のこぎり，電動糸のこぎり，金づち，釘，蝶番，木ねじ，ドライバー，きり，木工用接着剤，ニス・塗料，刷毛，さしがね，紙やすり，木工用やすり，ドレッサー，クランプ，万力，工作用紙，カッターナイフ，カッターマット など 児童：水彩用具一式，ペン，はさみ，筆記用具 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
生活を楽しく豊かにするものを，1枚の板から無駄のない使い方を考えてつくるときの感覚や行為を通して，形や色などの造形的な特徴を理解している。	表現方法に応じて電動糸のこぎりや塗料を活用するとともに，前学年までののこぎり，金づち，釘，水彩絵の具などの描画材などついての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形や色などの造形的な特徴を基に，自分のイメージをもちながら，感じたこと，想像したこと，見たことから表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じ，用途などを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。	形や色などの造形的な特徴を基に，自分のイメージをもちながら，実際に使うなどして自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい，主体的に生活を楽しく豊かにするものを，1枚の板から無駄のない使い方を考えてつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連　中学校技術：本題材での木取りや，材料の加工の経験がA「材料と加工の技術」につながる。

p.38-39　わたしの感じる和　自分の作品や身近な美術作品などのよさや面白さ・美しさを感じ取る　1～4

目標　古くから親しまれてきた日本の美術に触れ，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，そのよさや美しさ，表現の特徴を感じ取る。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
伝統の中にあるよさや美しさを感じ取り，それを受け継ぎ発展させていこうとする子ども。	○生活の中にある「日本の美術」だと思うものを集めたり調べたりする。 ○見たり実際に触れたりしながら，気付いたことを話し合い，よさや美しさを感じ取る。 ○自分なりに捉えた特徴を基に簡単に絵に表すなどして，感じたこと，考えたことを確かめる。	教師・児童：和を感じるもの（茶碗，扇子，団扇，風鈴 など） 教師：参考図版，モニター，ワークシート など 児童：筆記用具 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
日本の美術に触れたり見たりするときの感覚や行為を通して，動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを理解している。			動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，日本の美術作品や生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい，主体的に古くから生活の中で親しまれてきた日本の美術のよさや美しさを味わう学習活動に取り組もうとしている。

関連　道徳：C「伝統や文化の尊重，国や郷土を愛する態度」との関連が深い。日本の伝統的な美術作品に触れ，そのよさや特徴を感じたことから，道徳の学習につなげたい。

p.40-41　水の流れのように　感じたこと，想像したこと，見たことから表す／粘土で　4～8

目標　ガラスが溶けて流れる様子を想像しながら，焼き物にして表したい形を見付け，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，表し方を工夫して表す。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
まだ見ぬ状況を想像することに興味と意欲をもち，試しながら自分なりの方法を追求し実現させようとする子ども。	○ガラス片やビー玉を添えて焼き締める焼き物について興味をもち，つくり方を知る。 ○ガラスが溶けて流れ，溜まる様子を想像しながら，形を考えてつくる。 ○ガラスの量や色を考えて置き，焼成する。 ○作品を飾ったり，友人とお互いの作品を見合ったりして，形の工夫やよさを伝え合う。	教師・児童：粘土板，新聞紙，雑巾 など 教師：焼成用粘土，ガラス片・ビー玉，かきべら，切り糸，のし棒，竹ぐし，割り箸，軍手 など 児童：粘土べら など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
ガラスが溶けてできる水のような感じを生かして表すときの感覚や行為を通して，動き，バランスなどを理解している。	表現方法に応じてガラスを活用するとともに，前学年までの粘土や粘土べら，切り糸，かきべら，のし棒などについての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫している。	動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，水が流れる様子について感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じなどを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。	動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい，主体的にガラスが溶けてできる水のような感じを生かして，焼き物に表す学習活動に取り組もうとしている。

関連　中学校美術：ガラスが流れたり溜まったりすることを想像してつくることはA表現（2）ア（イ）につながっていく。

p.42-43　言葉から想像を広げて

感じたこと，想像したこと，見たことから表す／物語などから感じたこと，想像したことから表す　　4～8

目標　詩や短歌，物語などを味わい，その言葉からにじみ出る雰囲気や感じ取った思いが伝わるように，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，画面の構成を考え，表現方法を工夫して絵に表す。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
詩や短歌，物語などから広がるイメージを形や色で捉え，より深くその言葉を味わい，新たな価値を見いだす子ども。	○詩や短歌，物語などを読んで，感じたことや思い浮かんだことを小さな紙に簡単にかく。 ○かいたことや読んで感じたことを基に表したいことや表し方を考えて表す。 ○友人とお互いの作品を紹介し合い，どのようなことを表したのかを伝え合う。	教師：画用紙・色画用紙・黄ボール紙，コンテ・パステル など 児童：水彩用具一式，クレヨン・パス，色鉛筆，ペン，鉛筆 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
詩や短歌，物語などを読んで想像したことを絵に表すときの感覚や行為を通して，動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを理解している。	表現方法に応じて水彩絵の具を活用するとともにクレヨン・パス，色鉛筆，コンテ・パステルなどについての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，詩や短歌，物語などから感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じなどを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。	動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい，主体的に詩や短歌，物語などを読んで想像したことを絵に表す学習活動に取り組もうとしている。

関連　国語：国語で読んだ詩や物語を基に活動することもできる。文章を読んで自分なりの考えをまとめたり，思いを広げることは「〔思考力，判断力，表現力等〕C 読むこと（1）」にもつながる。

p.44-45　思い出のあの場所に　材料や場所を基にして活動する／場所・環境を生かして　　4～8

目標　校内の，自分にとって意味のある場所や思い出のある場所で，意味や思い出，場所の特徴を基に造形的な活動を思い付き，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，材料や用具を活用し，活動を工夫してつくる。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
自分の生活や学び，感じたことなどを伝え合い，お互いの思いを尊重し合いながら，他者と協働し意味や価値をつくりだそうとする子ども。	○学校の場所を見て回りながら，自分にとっての意味や，出来事などを思い出す。 ○思い出や場所の形や色などからどのようなことができそうか話し合う。 ○材料や用具を活用し，工夫しながら友人と一緒に活動する。 ○自分たちがつくりかえた場所を紹介し合いながら，お互いの考えたことや感じたことを伝え合う。	教師・児童：軍手，身辺材 など 教師：色画用紙，P.E.テープ，模造紙，木切れ，養生シート，養生テープ，クラフトテープ，両面テープ，針金，ひも，段ボール，紙粘土，木工用接着剤 など 児童：水彩用具一式，はさみ，のり など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
場所の思い出を基に空間をつくりかえるときの感覚や行為を通して，動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを理解している。	活動に応じて材料や用具を活用するとともに，前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり，方法などを組み合わせたりするなどして，活動を工夫してつくっている。	動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，思い出のある場所や空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付き，構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら，どのように活動するかについて考えている。	動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちのつくりだしたものの造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，つくり方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい，主体的に場所の思い出を基に空間をつくりかえる学習活動に取り組もうとしている。

関連　道徳：B「感謝」「友情，信頼」，C［よりよい学校生活，集団生活の充実」等との関連が深い。６年間の学校生活の思い出を振り返ったり，協力して活動することでその思い出を共有したりしたことから道徳の学習につなげたい。

p.46-47　ドリーム・プロジェクト　伝え合うものをつくる　　4～8

目標　楽しく幸せに過ごせる願いを込めた学校や町づくりの計画を，形や色などの造形的な特徴を捉えながら模型やイラスト，設計図などに表し方を工夫して表して，友人や学校に訪れた人に分かりやすくプレゼンテーションする。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
身近な社会や環境の課題に関わり，楽しく幸せに過ごしたいという願いを実現する方法を創造的に考え，行動しようとする子ども。	○身近な社会の環境や問題について話し合ったことを基に，よりよい学校や町づくりへの思いを膨らませる。 ○アイデアスケッチをしながら，よりよい学校や町づくりの計画を立てたり表現方法を考えたりする。 ○身近な材料や今までに経験した方法を活用して，計画を模型や設計図などに表す。 ○作品を基に思いや願い，考えたことについてプレゼンテーションを行う。	教師・児童：空き箱，身辺材，セロハンテープ など 教師：紙粘土，針金，カッターナイフ，カッターマット，木工用接着剤，化学接着剤，デジタルカメラ など 児童：水彩用具一式，ペン，はさみ，のり など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
願いを込めた学校や町づくりを計画し，表したり発表したりするときの感覚や行為を通して，形や色などの造形的な特徴を理解している。	表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに，前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形や色などの造形的な特徴を基に，自分のイメージをもちながら，環境や安全・安心などの社会の問題から感じたこと，想像したこと，見たこと，伝え合いたいことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じなどを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。	形や色などの造形的な特徴を基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい，主体的に願いを込めた学校や町づくりを計画し，表したり発表したりする学習活動に取り組もうとしている。

関連　社会・ＥＳＤ：環境や防災・安全，伝統・文化など社会科で学習した内容と合わせて考えることができる。よりよい学校生活や町づくりを自ら考え，模型などで具現化していく活動は社会科やＥＳＤとの連携につながる。
道徳：C「よりよい学校生活，集団生活の充実」との関連が深い。未来の学校や町について，社会の一員として考えたことや調べたことなどから，道徳の学習につなげたい。

p.48-49　未来のわたし　感じたこと，想像したこと，見たことから表す／様々な材料で　6～8

目標　未来の自分を想像し，自分が将来したいことなどを考え，夢や願いを込めて材料や形のつくり方を工夫して，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，立体に表す。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
自分自身を見つめ，将来の自分について願いと希望をもち，想像力を発揮し試しながら，未来をつくっていこうとする子ども。	○未来の自分がしたいことや様子などを思い浮かべたり話し合ったり調べたりする。 ○表したい様子を考え，ポーズなどを考えながらつくる。 ○材料や用具を活用して，周りの様子もつくる。 ○作品を友人に見せて，将来の夢やしたいことをどのように表したのかを紹介し合う。	教師・児童：身辺材，セロハンテープ など 教師：紙粘土，アルミ針金，ペンチ，ラジオペンチ，麻ひも，台木，金づち，ステープル，色画用紙，木工用接着剤 など 児童：水彩用具一式，はさみ，のり など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
未来の自分を想像して表すときの感覚や行為を通して，動き，バランス，色の鮮やかさなどを理解している。	表現方法に応じて針金やペンチを活用するとともに，前学年までの紙粘土や水彩絵の具などについての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	動き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，未来の自分の様子について感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じなどを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。	動き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい，主体的に未来の自分を想像して，ポーズや周りの様子も考えながら立体に表す学習活動に取り組もうとしている。

関連　ＥＳＤ：自分の将来を肯定的に捉えて表現していくことを通して，関連を図ることができる。
道徳：Ａ「希望と勇気，努力と強い意志」との関連が深い。未来の自分を想像し，形にすることは，そのことを目指して努力しようという決意にもつながる。その点を踏まえながら，道徳の学習とつなげたい。

p.50-51　版で広がるわたしの思い　版に表す　4～8

目標　これまでの経験を生かし，自分の思いに合った版に表す技法を用いて，彫りや刷りの効果を確かめながら，形や色などの造形的な特徴を捉え，版に表す。

育てたい子どもの姿	主な学習内容	主な材料・用具
自分の思いに合った表現を見付け，試しながら表すことを楽しみ，表現することに喜びを見いだす子ども。	○版に表したいことを考え，これまでに学習した版づくりの経験を基に，どのような版表現にするか決める。 ○選んだ版表現の手順を確認し，アイデアスケッチや下絵をかく。 ○版をつくり刷る。思いに合わせて繰り返したりかき足したりする。 ○友人とお互いの作品を紹介し合い，よさや表現の工夫を伝え合う。	教師・児童：新聞紙 など 教師：版木・ゴム板・スチロール板など，版画用具一式，版画用紙，色画用紙 など 児童：彫刻刀，水彩用具一式 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	A表現	B鑑賞	
自分の思いに合った版や刷り方を考えて表すときの感覚や行為を通して，動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを理解している。	表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じなどを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。	動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい，主体的に自分の思いに合った版や刷り方を考えて表す学習活動に取り組もうとしている。

関連　中学校美術：第１学年A表現（１）の（ア）「対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ，想像したことなどを基に主題を生み出し，全体と部分の関係などを考え，創造的な構成をし，心豊かに表現する構想を練ること」は，小学校における表現活動の積み重ねから生まれるものである。

5・6年下　特設ページについて

ページタイトル	ページ	概　要
教科書美術館 ～想像する力～	p.2-4	「教科書美術館」は，身の回りの造形から美術作品まで幅広く鑑賞の対象を掲載したページである。 「想像する力」では，人間のもつ「想像力」の素晴らしさや多様さを伝えることをねらいとしている。掲載されている作品を見ながら，表現も全くのゼロから生まれるのではなく，感じたことや想像したことを，そのイメージに合わせて形や色の特徴を組み合わせることでつくりだすことができるということ，その組合せは無限であり，それぞれによさや美しさがあることなどを，話し合うなどして感じ取るようにし，自分たちの表現に生かすことができるようにしたい。
図画工作をはじめよう ～見つめて 広げて～	p.5-7	オリエンテーションのページである。 ここでは，図画工作の学習が３つの資質・能力を育てる時間であり，教科書はそのためのヒントであって，写真やキャプションなどを参考にしながら，主体的に試し工夫し，友人と関わるなどして表現や鑑賞の活動に取り組み,自分の資質・能力を育てていく，ということを伝えている。 実際の題材に取り組む前に本ページを活用しながら，児童とともに，図画工作の目標について話し合う時間などをもつようにしたい。
ひらめきポケット ～見る～	p.34-35	「ひらめきポケット」は，児童の発想を促すための行為とそれに関連する図版を掲載している。児童が表現に向かったり，いろいろな形や色などに気付くためのページである。 「見る」では，この時期の児童の実態に合わせて，いろいろな視点から見ることによる見え方の変化や，見え方の変化を生かした美術作品などを紹介し，児童の発想を広げることができるようにしている。
図画工作のつながり ひろがり ～美術館へ行こう～	p.36-37	「図画工作のつながり ひろがり」は，図画工作で学んだことを生活や社会に生かすことを提案する，「開かれた教育課程」を目指すためのページである。 「美術館へ行こう」では，全国の様々な美術館の特長や特長的な取組みを紹介している。美術館に馴染みのある児童もいれば馴染みのない児童もいるだろう。本ページを通して，美術館という施設に興味や関心をもち，行ってみたいという思いを育てたい。
図画工作のつながり ひろがり ～つくるって楽しい～	p.52-53	「つくるって楽しい」では，作家の方による文章を紹介し，表現することの意味や価値などについて専門的な視点から，子ども達に分かりやすく伝えている。文章を基に，児童自身が自分たちなりに，表現することについての意味を考えられるようにしたい。
図画工作のつながり ひろがり ～平和をつなげるかたち～	p.54-55	「平和をつなげるかたち」では，図画工作での表現に自分たちの思いを込めることができること，形や色だからこそ伝わることがあることなどを紹介している。社会科やESD，総合的な活動などとも関連させながら，表現や鑑賞する活動に生かして，子どもたちの平和を大切にする心を育むようにしたい。
使ってみよう材料と用具	p.56-63	教科書で取り扱う様々な材料や用具について安全で適切な取扱いができるように示しているページである。 単に技能の習得として活用するだけでなく，いろいろな材料や用具自体も一つの鑑賞の対象として見ていくことができるような図版も掲載している。 また簡単な問いかけなどを設定するなど，材料や用具を使って表現することへの意欲を高めるコーナーも設定してある。活用にあたっては，特に安全に配慮する必要があるような用具については一斉指導をする，そうでないものについては適宜参照するなど，実態に応じて使い分けるようにしたい。
小中接続 ～中学生になるあなたへ～	p.64-65	６年間での図画工作での学びを振り返り，自分が何ができるようになったか，どのようなことを感じたのかということを確かめ，これからの学びや生活，社会に生かしていこうとする気持ちを育むためのページである。 子どもたちとともに教科書を見ながら，どのような活動をしたのか，そのときにどのようなこと考えたり感じたりしたのかということを発表し合うなどしながら，成長を振り返り，自信をもって中学校に向かっていけるようにしたい。また，学んだことが生活や社会を生き抜く中で大切な力である，ということについても伝えるようにしたい。